

第20回串間市農業委員会総会

日 時 平成28年1月29日 午後2時

会 場 串間市役所3階大会議室

出席委員 20名

1番(会長)	川崎 善昭	9番	日高 善次	16番	島田 俊満
2番	井手 重則	10番	瀬治山満弘	17番	金川 勇次
3番	安田 敬司	11番	鈴木 信	18番	福田 孝義
5番	内田 政秀	12番	渡邊 豊雄	19番	野邊 秀男
6番	武田 康典	13番	谷口 利則	20番	山下 貴義
7番	塔尾 秀雄	14番	野邊 俊博	21番	鳴海 正文
		15番	吉田 友子	22番	岩下 哲見

欠席委員 1名(8番 瀬治山秋美)

議事録署名委員 12番 渡邊 豊雄、 13番 谷口 利則

議事日程

第1	報告(合意解約)	農地法第18条第6項の規定による届出について
第2	議案第122号	農地法第3条の規定による許可申請について
第3	議案第123号	農地法第5条の規定による許可申請に対する意見について
第4	議案第124号	農用地利用集積計画の承認について(所有権移転)
第5	議案第125号	農用地利用集積計画の承認について(利用権設定・認定農業者)
第6	議案第126号	農用地利用集積計画の承認について(利用権設定・一般農業者)
第7	議案第127号	農用地利用集積計画の承認について(利用権設定・中間管理機構)
第8	議案第128号	農用地利用配分計画(案)に係る意見聴取について

会 長 それでは、只今から、第 2 0 回農業委員会総会を開催致します。本日は、8 番委員から欠席届の提出がありましたので、出席委員は 2 0 名でございます。

議事録署名委員の指名

会 長 本総会での議事録署名委員の指名をいたします。
議事録署名委員は、1 2 番 渡邊 豊雄 委員、1 3 番 谷口 利則 委員にお願いします。

報告：農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について

会 長 ただちに、議案審議に入ります。
まず、報告、農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について、事務局より報告させます。

事務局 農地法第 1 8 条第 6 項の規定による合意解約について報告いたします。
今回の合意解約は 1 件でございます。内容といたしましては、借り人からの申し出が、解約の理由となっております。お目通しいただきたいと思います。以上でございます。

会 長 報告はお聞きのとおりであります。

議案第 1 2 2 号：農地法第 3 条の規定による許可申請について

会 長 次に、議案第 1 2 2 号は、農地法第 3 条の規定による許可申請について、であります。
それでは、議案第 1 2 2 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局 議案第 1 2 2 号、農地法第 3 条の規定による許可申請は受付番号 1 番から 6 番の所有権移転に関する 6 件であります。事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第 3 条第 2 項各号の不許可の事由につきましては、

「第 1 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合

事務局

「第3号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること

「第4号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合

「第5号」 権利取得を含めた経営農地が、50アールに達しない場合

「第6号」 今回の申請農地を、転貸しようとする場合

「第7号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合、

であり、今回の許可申請受付番号1番から6番の6件については、農地法第3条第2項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をよろしくお願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号1番から4番の4件の説明をお願いします。

3 番

議案第122号、農地法第3条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号1番から4番の所有権移転に関する4件であります。まず、受付番号1番につきましては、受人の要望により、渡人と売買し、申請農地に飼料作物を作付し、農地集積及び規模拡大を図られるという事です。受人世帯については、毎年、水稻及び飼料作物を作付し生産和牛24頭を肥育されています。その為、受人が行う農業経営に必要な機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、農業従事状況についても、本人が250日以上常時従事があり、妻、両親の従事もあるため、問題ないと考えます。尚、申請地周辺も飼料作付地帯であり、農薬の使用も無いため、何も問題ありません。次に、受付番号2番につきましては、渡人が県外在住で管理できないことから、親族である受人へ譲渡するものです。受人は今まで借地として色々な野菜を作付していましたが、今後も引き続き野菜を作付する計画です。周辺農地も自家用野菜畑で、農薬の使用法については、地域の防除基準を遵守するとのことであり問題ないと考えます。受人は畜産農家であり、農業従事状況においても、本人が年間300日以上農業従事がある為、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。次に、受付番号3番につきましては、利便性を考慮し、渡人と相互交換するものです。受人は耕作利便も良くなり、飼料作物を作付するとの事です。集落営農や面的集積等にも積極的に参加し、農薬の使用も無いため問題ありません。受人世帯においては、毎年、水稻と飼料作物を作付しており、年間、本人が250日以上、妻の従事もある為、機械保有・労働力・

3 番

技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。次に、受付番号4番につきましては、渡人は高齢で申請地を管理できない為、受人と売買するものです。受人は、申請地に飼料作物を作付する計画です。受人世帯については、現在、繁殖牛約170頭、子牛120頭を生産する和牛畜産農家であり、農業従事状況においても、本人夫婦、両親ともに300日以上農業従事がある為、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。尚、周囲に農地は無いため影響はありません。以上、福島地区委員会において、受付番号1番から4番の所有権移転の4件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会 長

次に、大東地区委員会より、受付番号5番の1件の説明をお願いします。

1 6 番

議案第122号、農地法第3条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号5番の所有権移転に関する1件でございます。この1件については、父が高齢のために受入へ譲渡し、今後の安定した農業を営むよう経営を任せるとのことです。又、受入は申請農地に食用甘藷を作付します。受人世帯においては、毎年200a以上の食用甘藷を栽培しており、農業従事状況についても、受入は専業農家であり、本人が年間300日以上従事があり、妻も280日以上従事がある為、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、申請地の周辺一帯は、食用甘藷作付地帯であり、農薬散布・水利調整参加等の影響はありません。以上、大東地区委員会において、受付番号5番の所有権移転に関する1件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありません。本会議でのご審議方よろしく申し上げます。

会 長

次に、市木地区委員会より、受付番号6番の1件の説明をお願いします。

2 2 番

議案第122号、農地法第3条の規定による許可申請について、市木地区は受付番号6番の所有権移転に関する1件であります。受付番号6番については、母親から息子へ贈与するものです。受入は申請地に、水田には水稻を、畑にはポンカンを作付する計画であります。トラクター、田植え機、コンバイン等の機械保有があり、農業従事状況も本人が300日以上、母が150日以上、宮崎在住の弟が農繁期には手伝いに来ていたとのことであり、技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、申請地の水田の周辺も水稻地帯であり、畑の周辺についても、果樹栽培地帯である為、農薬散布・水利調整参加等への影響はありません。以上、市木地区委員会において担当委員から報告を受け、受付番号6番の所有権移転に関する1件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありませんので、本会議でのご審議方よろしく申し上げます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。
只今から、議案第 1 2 2 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件について、質疑に入ります。
質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 1 2 2 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 1 2 2 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件については、許可することに決定します。

議案第 1 2 3 号：農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について

会 長

次に、議案第 1 2 3 号は、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、であります。
それでは、議案第 1 2 3 号、受付番号 1 番から 5 番の 5 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 1 2 3 号、農地法第 5 条の規定による許可申請は受付番号 4 番を除く受付番号 1 番から 5 番の所有権移転に関する 4 件と、受付番号 4 番の貸借権の設定に関する 1 件の合計 5 件であります。

農地法第 5 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実に認められない場合

事務局

「４号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号１番と４番の２件の申請地農地区分は、農地法第５条第２項１号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内、又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、受付番号１番については、都市計画法 第８条第１項第１号に規定されている、住居の環境を保護するため定める地域「第一種住居地域」に、受付番号４番については、主として低層住宅に係る良好な住居の環境を保護するため定める地域「第二種低層住居専用地域」に該当し、「第３種農地」に区分されますので、農地法第５条第２項１号ロには該当しておりません。

次に、受付番号２番の申請地農地区分は、農地法第５条第２項第１号イにあります、農用地区域内にある農地ではありませんが、農地法第５条第２項１号ロにあります、集団的に存在する農地、その他良好な営農条件を備える「第一種農地」であることから不許可の事由に該当することになります。しかし、今回の申請は、農地法施行令第１０条第１項第２号イにあります「申請に係る農地を農業用施設等に供するものである場合」に当たることから、申請地は「第一種農地」ではありますが、不許可の例外に該当しております。

次に、受付番号３番の申請地農地区分も、農地法第５条第２項第１号イにあります、農用地区域内にある農地に該当しておりますが、農業用施設用地へ用途変更済であるため問題ありません。また、この受付番号３番につきましても、「第一種農地」ではありますが、先程の受付番号２番と同じく、農地法施行令第１０条第１項第２号イに該当することから、申請地は「第一種農地」ではありますが、不許可の例外に該当しております。

次に、受付番号５番の申請地農地区分は、農地法第５条第２項第１号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性が低い農地であるため「第２種農地」に区分されますので、農地法第５条第２項１号ロには該当しておりません。したがって、事務局により申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号１番から５番の５件につきましては、許可要件を全て満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

それでは、福島地区委員会より、受付番号１番から４番の４件の説明をお願いします。

3 番

議案第123号、農地法第5条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号1番から4番の4件であります。まず、受付番号1番につきましては、申請地はこれまで隣接する受人所有農地の進入路として利用してきており、今後も必要なため申請されたものです。雨水等については、隣接する市道側溝へ流しており、周辺農地への影響はなく問題ありません。次に、受付番号2番につきましても、申請地はこれまで受人所有農地の進入路として利用してきており、今後も利用する為申請されたものです。雨水等の排水については、既存の側溝へ流しており、周囲に影響を与えることなく問題ありません。次に、受付番号3番につきましては、農地法3条受付番号3番で報告した相互交換地となりますが、申請地には、牛舎及び堆肥舎を建設するものがあります。受人は繁殖牛の経営を行っており、牛舎を新築し20頭の増頭を行う計画です。申請地の北側は排水路、東側は市道、南側は受人が経営する農業用施設用地であります。西側には農地がありますが、日照条件に配慮し牛舎建設に当たるとともに、境界にはブロック塀の設置は行いませんが、隣接農地や市道へ影響がないよう徹底した管理に努めるとのことです。雨水等については、敷地内に設置している側溝・排水路に流すため問題ありません。次に、受付番号4番につきましては、農業後継者であります。申請地を父から譲り受け、将来の生活安定のためアパートを建設するものであります。汚水、生活雑排水は、合併浄化槽を通じて、東側市道側溝へ放流します。又、雨水についても市道側溝へ流します。周辺は宅地であり、境界も明確であり、周囲にはブロック塀を設置する為、何等問題ありません。以上、福島地区委員会において、受付番号1番から4番の4件を慎重審議してきましたが、農地法第5条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくお願いします。

会 長

次に、大東地区委員会より受付番号5番の1件の説明をお願いします。

16番

議案第123号、農地法第5条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号5番の1件であります。申請地は周囲を山林に囲まれ、鳥獣害の被害で耕作できないため、渡人は山林として管理しておりました。渡人は既に地区外へ移住しており、管理が困難になり今回譲渡するものです。又、受人も山林として管理していかれるということです。定期的の下払い、枝打ち、間伐等の作業を行い管理していかれるようであり、周囲も山林である為、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させる恐れはありません。以上、大東地区委員会において、受付番号5番の1件を慎重審議してきましたが、農地法第5条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。

これより、議案第１２３号、受付番号１番から５番の５件について質疑に入ります。

質疑はございませんか。

（ なしの声 ）

会 長

ないようですので、議案第１２３号、受付番号１番から５番の５件について、決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということですので、議案第１２３号、受付番号１番から５番の５件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案

会 長

次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、であります。審議に入ります前にあらかじめ、市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。

事務局

平成２８年１月分につきましては、串間市長より平成２８年１月１５日付で、農業経営基盤強化促進法第１８条第１項の規定による農用地利用集積計画の決定が求められております。

内容につきましては、議案第１２４号・所有権移転が２件・面積が２，８４７㎡、議案第１２５号・受人が認定農業者である利用権設定が９件・面積が２７，９２５㎡、議案第１２６号・受人が一般農業者である利用権設定が２件・面積が４，１１４㎡、議案第１２７号・受人が農地中間管理機構分である利用権設定が５件・面積が３４，８５９㎡であります。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。それでは、只今から市からの提案について、審議に入ります。

議案第１２４号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転

会 長

議案第１２４号は、農用地利用集積計画の所有権移転の承認について、であります。

会 長

それでは、議案第124号、受付番号1番と2番の2件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第124号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分は、受付番号1番と2番の2件であります。この2件について、説明いたします。「農用地利用集積計画の承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第18条第3項、

第1号) 今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること。

第2号) イ 耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること。

第2号) ロ 耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること。であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号1番と2番の2件については、農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

それでは、福島地区委員会より、受付番号1番と2番の2件の説明をお願いします。

3 番

議案第124号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、福島地区は受付番号1番と2番の2件であります。この2件は、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号1番と2番の2件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

これより、議案第１２４号、受付番号１番と２番の２件について、質疑に入ります。

質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案第１２４号、受付番号１番と２番の２件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということでありますので、議案第１２４号、受付番号１番と２番の２件について、決定して市へ通知します。

議案第１２５号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・認定農業者分

会 長

次に、議案第１２５号は、農用地利用集積計画の利用権設定・認定農業者分について、であります。

それでは、議案第１２５号、受付番号１番から９番の９件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第１２５号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分でございます。今回の譲受人が認定農業者分につきましては、受付番号１番から９番の９件であります。この９件について説明いたします。事務局によります申請書類の審査において、受付番号１番から９番の９件につきましては、議案第１２４号で説明いたしました、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件をすべて満たしていると思われま。

また、受付番号７番と８番の２件につきましては、所有者死亡により、相続人代表での申請となっております。渡人である所有者が死亡している場合には、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項第４号の規定により、所有権を有する全ての者の同意が得られていることとなっております。受付番号７番と８番の２件につきましては、相続権を有する全ての者の同意が得られているため、該当要件を満たしております。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

それでは、福島地区委員会より、受付番号１番から５番の５件の説明をお願いします。

３ 番

議案第１２５号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分、福島地区は受付番号１番から５番の５件であります。この５件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号１番から５番の５件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

次に、大東地区委員会より受付番号６番から８番の３件の説明をお願いします。

１ ６ 番

議案第１２５号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分、大東地区は受付番号６番から８番の３件であります。この３件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、大東地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号６番から８番の３件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

次に、本城地区委員会より受付番号９番の１件の説明をお願いします。

１ ９ 番

議案第１２５号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分、本城地区は受付番号９番の１件であります。この１件においては、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、担当委員から報告を受け、本城地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号９番の１件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。本会議でのご審議方お願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第 1 2 5 号、受付番号 1 番から 9 番の 9 件について、質疑に入ります。
質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案第 1 2 5 号、受付番号 1 番から 9 番の 9 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということでありますので、議案第 1 2 5 号、受付番号 1 番から 9 番の 9 件について、決定して市へ通知します。

議案第 1 2 6 号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・一般農業者分

会 長

次に、議案第 1 2 6 号は、農用地利用集積計画の利用権設定・一般農業者分について、であります。
それでは、議案第 1 2 6 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。
まず、事務局より提案理由の説明をさせます。

事務局

議案第 1 2 6 号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、(利用権設定、一般農業者分)であります。今回の譲受人が一般農業者分につきましては、受付番号 1 番と 2 番の 2 件であります。この 2 件について説明いたします。事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番と 2 番の 2 件につきましては、議案第 1 2 4 号で説明いたしました、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項各号の該当要件をすべて満たしていると思われま。す。
皆さんのご審議をお願いいたします。以上でございます

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、本城地区委員会より、受付番号 1 番の 1 件の説明をお願いします。

19番

議案第126号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、一般農業者分、本城地区は受付番号1番の1件であります。この1件においては、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、担当委員からの報告を受け、本城地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号1番の1件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。本会議でのご審議方お願いします。

会 長

次に、市木地区委員会より、受付番号2番の1件の説明をお願いします。

22番

議案第126号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、一般農業者分、市木地区は受付番号2番の1件であります。この1件については、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、市木地区委員会において、担当委員の報告を受け、慎重審議してまいりましたが、受付番号2番の1件については、該当要件をすべて満たしているため、問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第126号、受付番号1番と2番の2件について、質疑に入ります。

質疑はございませんか。

（ なしの声 ）

会 長

ないようでございますので、議案第126号、受付番号1番と2番の2件を決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということでありますので、議案第１２６号、受付番号１番と２番の２件について、決定して市へ通知します。

議案第１２７号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・中間管理機構分

会 長

次に、議案第１２７号は、農用地利用集積計画の利用権設定・農地中間管理機構分について、であります。それでは、議案第１２７号、受付番号１番から５番の５件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第１２７号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、農地中間管理機構分でございます。今回の農地中間管理機構分につきましては、受付番号１番から５番の５件であります。この５件について、説明いたします。「農用地利用集積計画承認の該当要件」につきましては、先程、議案第１２４号で説明しました農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号のとおりでございますが、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項第２号の但し書きにより、農地中間管理機構が農地中間管理事業の実施によって利用権設定を受ける場合には、同法第１８条第３項第２号イとロにあります「農用地の全てを効率的に利用し、農作業に常時従事することが認められること」の要件に該当しなくても良いとされていることから、すべてを満たしていると思われま

す。また、受付番号１番と４番の２件につきましては、所有者死亡により、相続人代表での申請となっております。渡人である所有者が死亡している場合には、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項第４号の規定により、所有権を有する全ての者の同意が得られていることとなっております。受付番号１番と４番の２件につきましては、相続権を有する全ての同意が得られているため、該当要件を満たしております。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号１番から３番の３件の説明をお願いします。

３番

議案第１２７号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、農地中間管理機構分の、福島地区は受付番号１番から３番の３件であります。この３件においては、宮崎県農地中間管理機構が１０年間借り受け、地域の担い手等へ再配分することで、面的集積等に取り組む事業でございます。地権者等に確認したところ間違いのないこととであり、福島地区委員会において受付番号１番から３番の３件を慎重審議してまいりましたが、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

次に、大東地区委員会より、受付番号４番の１件の説明をお願いします。

１６番

議案第１２７号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、農地中間管理機構分の、大東地区は受付番号４番の１件であります。この１件においては、宮崎県農地中間管理機構が１０年間借り受け、地域の担い手等へ再配分することで、面的集積等に取り組む事業でございます。地権者等に確認したところ間違いのないこととであり、大東地区委員会において受付番号４番の１件を慎重審議してまいりましたが、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

次に、本城地区委員会より、受付番号５番の１件の説明をお願いします。

１９番

議案第１２７号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、農地中間管理機構分、本城地区は受付番号５番の１件であります。渡人については、病気を理由に今回離農するに当たり、農地中間管理事業を活用するとのこととであり、内容についても間違いのないこととありました。本城地区委員会において受付番号５番の１件を慎重審議してまいりましたが、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今から、議案第１２７号、受付番号１番から５番の５件について、質疑に入ります。

質疑はございませんか？

（ なしの声 ）

会 長

ないようでございますので、議案第１２７号、受付番号１番から５番の５件を決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということとありますので、議案第１２７号、受付番号１番から５番の５件について、決定して市へ通知します。暫時休憩します。

（農業振興課農政企画係職員 入室・着席 ）

議案第 1 2 8 号：農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取について

会 長

休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、議案第 1 2 8 号、農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取について、5 地区分を議題といたします。まず、農業振興課・農政企画係担当者からの説明を求めます。

農業振興課
農政企画係

「桂原地区農用地利用配分計画（案）」、「天神・郡元地区農用地利用配分計画（案）」、「塩屋原地区農用地利用配分計画（案）」、「清水・園田地区農用地利用配分計画（案）」、「千野地区農用地利用配分計画（案）」説明

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

それでは、只今の説明に対し、質疑に入ります。

質疑はございませんか。

（ なしの声 ）

会 長

ないようですので、担当課の退席を求めます。

暫時休憩します。

（ 農業振興課農政企画係職員 退席・退室 ）

会 長

休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、只今の説明に対しまして、委員の皆さんより意見を求めたいと思いますが、まず、今回の配分計画（案）の担当地区より、それぞれの意見をあげていただきたいと思います。まず、福島地区よりお願いします。

3 番

今回意見聴取が求められた桂原地区、天神・郡元地区、塩屋原地区の 3 地区の配分計画（案）が福島地区管内の取組でありますので、意見を述べさせていただきます。「この 3 地区の農用地利用配分計画（案）」につきましては、計画にある賃借権の設定を受ける者が、耕作又は養畜の事業に供すべき農用地の全てを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること、又、耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められることを、備えているかどうかについて、担当委員の意見を聞き取り、福島地区委員会で協議してまいりましたが、全てにおいて問題ないと思われまます。以上、報告します。

会 長 3 番委員からだされた意見につきましては、先ほど説明のあった配分計画（案）にある借受者が、要件をすべて満たしているので問題ないとの意見でありました。

会 長 次に、大東地区よりお願いします。

1 3 番 今回意見聴取が求めている清水・園田地区の配分計画（案）が大東地区管内の取組でありますので、意見を述べさせていただきます。「清水・園田地区農用地利用配分計画（案）」につきましては、計画にある賃貸借権の設定を受ける者が、耕作又は養畜の事業に供すべき農用地の全てを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること、又、耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること、を、備えているかどうかについて、担当委員の意見を聞き取り、大東地区委員会で協議してまいりましたが、全てにおいて問題ないと思われます。以上、報告します。

会 長 1 3 番委員からだされた意見につきましても、先ほど説明のあった配分計画（案）にある借受者が、要件をすべて満たしているので問題ないとの意見でありました。

会 長 次に、本城地区よりお願いします。

1 7 番 今回意見聴取が求めている千野地区の配分計画（案）が本城地区管内の取組でありますので、意見を述べさせていただきます。「千野地区農用地利用配分計画（案）」につきましては、計画にある賃借権の設定を受ける者が、耕作又は養畜の事業に供すべき農用地の全てを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること、又、耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められることを、備えているかどうかについて、担当委員の意見を聞き取り、本城地区委員会で協議してまいりましたが、全てにおいて問題ないと思われます。以上、報告します。

会 長 1 7 番委員からだされた意見につきましても、先ほど説明のあった配分計画（案）にある借受者が、要件をすべて満たしているので問題ないとの意見でありました。他に意見はありませんか。

（ なしの声 ）

会 長

それでは、お諮りいたします。

3 番、1 3 番、1 7 番委員からだされた意見を付して、意見聴取が求められている 5 地区の農用地利用配分計画（案）が妥当であると市へ通知することに、異議はありませんか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということですので、出された意見を付して農用地利用配分計画（案）が妥当であることを通知します。

会 長

以上で、先に送付いたしました議案の審議は全部終了いたしました。
慎重・審議、誠にありがとうございました。